



## 平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月14日

上場会社名 株式会社アークス 上場取引所 東・札  
 コード番号 9948 URL <http://www.arcs-g.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横山 清  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 古川 公一 TEL 011-530-1000  
 管理部門・コーポレート部門管掌  
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月15日 配当支払開始予定日 平成26年11月6日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績（平成26年3月1日～平成26年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	228,314	0.0	6,517	2.2	7,649	8.9	4,200	37.4
26年2月期第2四半期	228,307	8.7	6,377	△8.3	7,021	△6.1	3,056	△20.4

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 4,254百万円 (35.6%) 26年2月期第2四半期 3,135百万円 (△18.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	76.40	—
26年2月期第2四半期	55.55	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	187,311	112,844	60.2
26年2月期	177,564	110,019	62.0

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 112,844百万円 26年2月期 110,019百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	20.00	—	20.00	40.00
27年2月期	—	20.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年2月期の連結業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	480,000	5.6	13,900	3.5	15,500	5.5	10,000	56.9	179.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |   |   |
|----------------------|---|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : | 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : | 無 |
| ④ 修正再表示              | : | 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期2Q	55,591,438株	26年2月期	55,591,438株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	719,371株	26年2月期	566,949株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期2Q	54,985,374株	26年2月期2Q	55,025,724株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会資料の入手方法)

四半期決算説明会資料は平成26年10月16日（木）に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年3月1日から平成26年8月31日)におけるわが国経済は、昨年来から続く円安・株高を背景に、一部の企業で収益の改善や積極的な設備投資計画がみられるものの、原材料価格の上昇や消費税後の消費反動減により景気回復の遅れが懸念されるなど、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主力事業である食品小売業界におきましても、消費税や、電気料金の値上げ等による家計負担増加に伴う消費者の節約志向に加え、競合各社との価格競争、異業種間との競争激化により、経営環境は引き続き厳しい状況で推移してまいりました。

このような状況のなか、当社グループは、「渾ての力を結集し 顧客第一主義を貫き 総攻撃で増税・脱デフレの難関を突破する」を年頭方針として掲げ、敢えて積極的な取り組みを行うことで、地域シェアの拡大と企業価値の向上を図ってまいりました。

平成26年5月14日付で公表のとおり、当社グループの東北エリアにおける一層の競争力強化を図ることを目的に、岩手県及び宮城県において、ディスカунティング業態の「ビッグハウス」を中心に25店舗を展開している㈱ベルプラス(本社:岩手県盛岡市)と平成26年9月1日に経営統合を行いました。また、当社の連結子会社である㈱ユニバースが、平成26年3月31日付で㈱リッツコーポレーション(本社:福島県会津若松市)の全株式を取得して子会社化し、平成26年9月1日に吸収合併いたしました。

組織体制面においては、当社グループの共通課題への取り組みやグループシナジーの更なる追求を目的として前年度に大きく見直しを行った委員会及びプロジェクトの活動を通じ、当社グループのスケールメリットを生かした商品・資材調達への取り組みや新たな販売チャネル開発を始めとする新規事業の研究を継続してまいりました。更に、当社と当社子会社の機能及び役割の明確化によるグループ・ガバナンスの強化並びに公正な取引を推進するための業務改革を、グループ共通の取り組みとして継続してまいりました。

営業面におきましては、新規出店として、平成26年7月に「スーパーアークス室蘭中央店」(運営会社㈱ラルズ)をオープンいたしました。「一度は行って見たいお店、一度行ったらまた行きたくなるお店」をコンセプトに掲げ、地場商品の取扱い強化、惣菜バイキングや各種少量パック並びに簡便商品の品揃えを充実させた他、お買いものをお楽しみいただき、地域の皆様の憩いの場としてもご活用いただけるための取り組みを行い、ご好評をいただいております。また、多様化するお客様ニーズと競争環境に対応するため、平成26年6月には、「新三光ストア新井田店」(運営会社㈱ユニバース)を増床し、「ユニバース新井田店」として、平成26年8月には「ビッグハウスパルプタウン」(運営会社㈱道北アークス)を「スーパーアークスパルプタウン」として業態変更し、それぞれオープンした他、㈱ユニバースが㈱リッツコーポレーションから譲り受けた3店舗、㈱東光ストア1店舗、㈱ジョイス2店舗の改装をそれぞれ実施いたしました。

一方、店舗政策の効率化のため、平成26年6月にラルズプラザ札幌店及びラルズマート札幌店(いずれも運営会社㈱ラルズ)を閉鎖いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の当社グループの総店舗数は293店舗(※)となりました。

また、昨年8月以降、東北地区へ順次展開してきたアークスRARAカードは、総会員数が250万人を超えました(平成26年9月末日現在の会員数:252万人)。東北地区におきましては、ご利用いただける加盟店を拡充させた他、本年7月から新たなクレジット機能を付加したカードを追加導入するなど利便性と機能の拡充に努めてまいりました。

以上の取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,283億14百万円(対前年同期比0.0%、6百万円増)、営業利益65億17百万円(対前年同期比2.2%増)、経常利益76億49百万円(対前年同期比8.9%増)、四半期純利益42億円(対前年同期比37.4%増)を計上し、増収増益となりました。

※平成26年9月1日の㈱ベルプラスとの経営統合により、同日時点で当社グループの店舗数は318店舗となっております。

### (2) 連結財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して97億47百万円増加し、1,873億11百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の増加額83億41百万円、未収入金の減少額15億16百万円などによるものです。

負債は、前連結会計年度末と比較して69億22百万円増加し、744億67百万円となりました。この主な要因は、買掛金の増加額53億14百万円がある一方、短期並びに長期借入金が15億46百万円減少したことなどによるものです。

また、純資産は、前連結会計年度末と比較して28億25百万円増加し、1,128億44百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加額31億円などによるものです。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末より1.8ポイント減少し60.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して87億21百万円増加し320億10百万円(対前年同期末比では58億73百万円の増加)となりました。当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの各々の状況とそれらの主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益75億54百万円、減価償却費25億64百万円、仕入債務の増加額53億14百万円、及び法人税等の支払額23億32百万円などにより、173億24百万円の収入(対前年同期比では42億6百万円の収入増加)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、新規出店や店舗改装等(LED照明の導入等)に伴う有形固定資産の取得による支出29億58百万円、貸付けによる支出30億78百万円、差入保証金の回収による収入12億44百万円、及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出7億69百万円などにより、57億14百万円の支出(対前年同期比では38億11百万円の支出増加)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減少額5億80百万円、長期借入金の返済による支出9億66百万円、及び配当金の支払額10億99百万円などにより、28億88百万円の支出(対前年同期比では11億78百万円の支出の減少)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年7月25日に公表いたしました当社連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	24,823	33,164
受取手形及び売掛金	2,280	2,928
たな卸資産	13,045	12,034
未収入金	4,378	2,861
繰延税金資産	1,389	1,389
その他	1,560	3,980
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	47,468	56,350
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	38,697	38,353
土地	60,924	62,340
リース資産(純額)	2,427	2,407
その他(純額)	3,774	4,352
有形固定資産合計	105,824	107,454
無形固定資産		
のれん	356	728
ソフトウェア	812	810
その他	304	286
無形固定資産合計	1,473	1,825
投資その他の資産		
投資有価証券	3,062	3,217
敷金及び保証金	14,602	13,147
繰延税金資産	3,670	3,505
その他	1,829	1,818
貸倒引当金	△367	△7
投資その他の資産合計	22,797	21,681
固定資産合計	130,095	130,961
資産合計	177,564	187,311

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	24,336	29,651
短期借入金	5,145	4,428
リース債務	493	442
未払金	5,253	5,348
未払費用	2,346	2,773
未払法人税等	2,764	3,357
未払消費税等	610	1,727
賞与引当金	2,066	2,386
ポイント引当金	475	890
その他	1,667	2,049
流動負債合計	45,159	53,056
固定負債		
長期借入金	7,525	6,695
リース債務	2,110	2,161
退職給付引当金	3,252	3,200
長期預り保証金	5,944	5,792
資産除去債務	2,207	2,259
その他	1,345	1,301
固定負債合計	22,385	21,410
負債合計	67,544	74,467
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	20,683	20,683
利益剰余金	69,714	72,814
自己株式	△643	△972
株主資本合計	109,753	112,525
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	265	319
その他の包括利益累計額合計	265	319
純資産合計	110,019	112,844
負債純資産合計	177,564	187,311

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	228,307	228,314
売上原価	174,416	173,432
売上総利益	53,891	54,881
販売費及び一般管理費		
宣伝装飾費	2,817	2,593
店舗賃借料	3,489	3,376
ポイント引当金繰入額	1,954	2,596
給料及び手当	18,132	18,404
賞与引当金繰入額	2,464	2,505
退職給付費用	529	469
水道光熱費	3,729	4,046
租税公課	950	964
減価償却費	2,502	2,564
その他	10,942	10,842
販売費及び一般管理費合計	47,513	48,364
営業利益	6,377	6,517
営業外収益		
受取利息	45	42
受取配当金	51	58
業務受託料	226	229
貸倒引当金戻入額	—	360
その他	450	578
営業外収益合計	773	1,268
営業外費用		
支払利息	100	92
その他	29	44
営業外費用合計	129	136
経常利益	7,021	7,649
特別利益		
投資有価証券売却益	—	13
その他	1	3
特別利益合計	1	16
特別損失		
固定資産除売却損	20	85
店舗閉鎖損失	34	7
課徴金	1,287	—
その他	28	18
特別損失合計	1,370	111
税金等調整前四半期純利益	5,652	7,554
法人税等	2,595	3,353
少数株主損益調整前四半期純利益	3,056	4,200
四半期純利益	3,056	4,200



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,056	4,200
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	78	53
その他の包括利益合計	78	53
四半期包括利益	3,135	4,254
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,135	4,254
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,652	7,554
減価償却費	2,502	2,564
のれん償却額	281	325
受取利息及び受取配当金	△96	△100
支払利息	100	92
課徴金	1,287	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	331	319
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△360
ポイント引当金の増減額(△は減少)	77	415
売上債権の増減額(△は増加)	△369	△647
たな卸資産の増減額(△は増加)	△113	1,011
仕入債務の増減額(△は減少)	5,820	5,314
その他	2,013	3,162
小計	17,488	19,650
利息及び配当金の受取額	67	87
利息の支払額	△90	△81
課徴金の支払額	△1,287	—
法人税等の支払額	△3,060	△2,332
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,118	17,324
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,622	△2,958
貸付けによる支出	△1	△3,078
差入保証金の差入による支出	△98	△67
差入保証金の回収による収入	475	1,244
預り保証金の返還による支出	△567	△308
預り保証金の受入による収入	48	95
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△769
その他	△136	128
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,902	△5,714
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,130	△580
長期借入れによる収入	700	—
長期借入金の返済による支出	△1,257	△966
自己株式の取得による支出	△1	△1
配当金の支払額	△1,155	△1,099
その他	△223	△241
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,067	△2,888
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7,147	8,721
現金及び現金同等物の期首残高	18,989	23,288
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,136	32,010

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他(注)	合計
	小売事業		
売上高			
外部顧客への売上高	227,716	591	228,307
セグメント間の内部売上高又は振替高	363	962	1,325
計	228,079	1,553	229,633
セグメント利益	7,308	122	7,431

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、観光事業、ビルメンテナンス事業及び保険代理業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,308
「その他」の区分の利益	122
のれん償却額	△281
全社費用等(注)	△129
四半期連結損益計算書の経常利益	7,021

(注)全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

当社グループは、小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

前連結会計年度まで、当社グループの事業セグメントは「小売事業」と「その他」の事業に区分しておりましたが、「その他」の事業の利益及び売上高に重要性が乏しく、また、経営統合等による今後の事業展開を踏まえて事業別セグメントについて再検討した結果、「小売事業」を中心に事業拡大していくことが予想されることから、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントについては、「小売事業」の単一セグメントに変更することといたしました。

4. 補足情報

販売実績

当第2四半期連結累計期間

セグメントの名称		前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)		前年同期比 (%)
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
小売事業	食品	186,621	81.7	186,405	81.6	99.9
	衣料品	1,667	0.7	1,435	0.6	86.1
	住居関連	11,960	5.2	12,460	5.4	104.2
	テナント	7,232	3.2	6,913	3.0	95.6
	酒類等	17,183	7.5	17,090	7.5	99.5
	D P E	122	0.1	123	0.1	100.6
	医薬品	779	0.4	746	0.4	95.7
	不動産賃貸収入等	2,148	0.9	2,415	1.1	112.4
	計	227,716	99.7	227,589	99.7	99.9
その他	観光事業	164	0.1	167	0.1	101.6
	その他の事業	427	0.2	556	0.2	130.4
	計	591	0.3	724	0.3	122.4
合計		228,307	100.0	228,314	100.0	100.0

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。